

R257からMt.押山へ

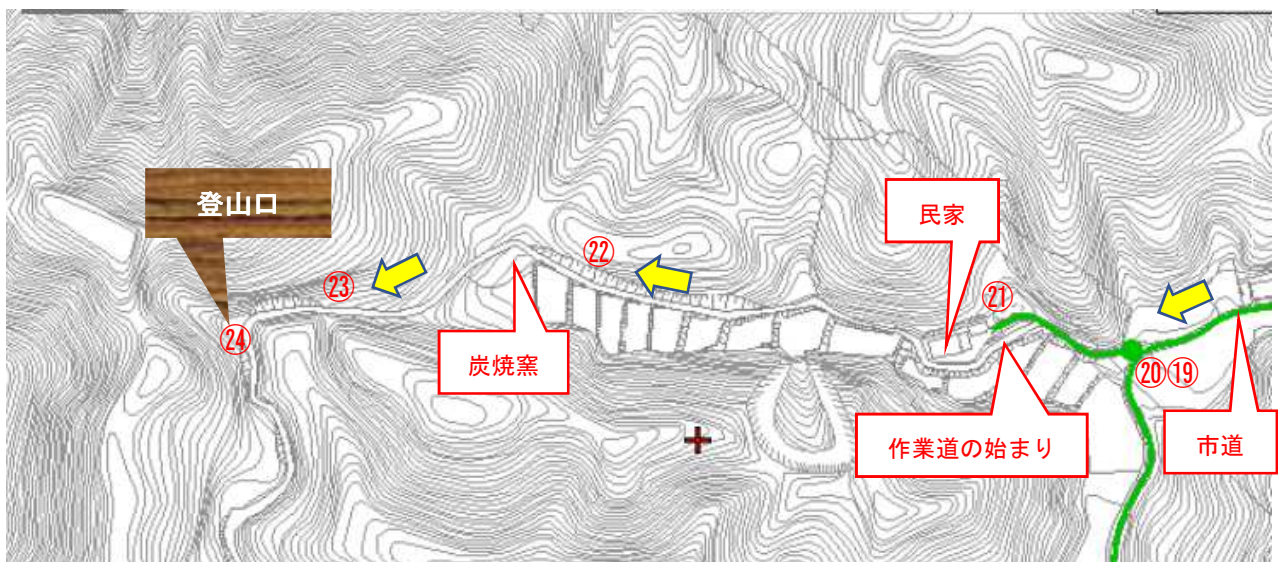
2017.12.4



稲武地区中心部（豊田市役所稲武支所）から岐阜県恵那市に方面に進んだ場合の案内です。
岐阜県境の間近くにある**押山地区振興施設**を左に見ながら150m進み右折、すぐ先の突き当りを左折して350m進むと**押山バス停**があります。バス停から市道峯山線を3.5km上ると峰山峠に至ります。峠の三叉路を**右（行き止まり方向）**へ900m進み、さらに市道から**作業道**に入ります。



作業道の入り口は民家の下です。民家の下を通り、**炭焼窯**の横を進んでちょっとした峠を越えると登山口が見えます。この間の距離は600mほどです。なお、作業道は住民の負担と市の補助によってつくられた簡易的な林業用道路ですのであまり快適ではありません。この点をご理解ください。



参考写真



まもなく岐阜県境です。左に押山地区振興施設が見えたら、その先150mで右折します。



これが押山地区振興施設



ここで右折 通り過ぎると一瞬で岐阜県に入ってしまう、あれ〜っ?となります。



右折したら突き当りを左折します。



350m直進



バス停を右折



約500m上り進むと上組集会所という建物があります。



ここは集会所兼お堂になっていてちょっとオモシロい
仏様たちがおみえです。(HPをごらんください)



上組集会所から1.2km上ると、石神峠という平坦な
場所に出ます。



右手に田んぼや民家（一軒家）が見えてきます。



また上り坂になりますが、今度は急カーブの連続です。



タイヤを鳴らして走りたい人もいるかもしれませんが、
対向車も同じことを考えているかも・・・慎重に！



急カーブの連続を上りきると峰山峠に出ます。石神峠から600m。すぐの三叉路を**右**に進みます。**右**です！



この標識が『行き止まり』などと貴方を迷わせようとしていますが、**断固**として**右**へ進んでください。



この道路は通常は問題なく通行できますが、台風の後などは大きな枯れ枝が落ちていることがあります要注意。



直進です。
左の方へ入っていくとエライことになります。



民家が見えてきました。



次の民家。



すぐ先の三叉路は**直進**
左へ行くとタイヘンなことになります。



三叉路にはこの案内版があります。
もうすぐです。



市道から作業道に入ります。入り口を間違えないように！手前のカーブです。



道なりに進んでいくと、炭焼窯があります。



ちょっとした峠を越えると登山口が見えてきます。



到着です。車は他の邪魔にならないよう適当に停めてください。駐車違反で捕まる心配はありません。

(終わりに)

R 1 5 3からのルートは道路事情も良く、スタッドレスタイヤなど装備していれば冬でも登山口へ来ることができます。(大雪では無理ですが) しかし、昔の人たちはMt. 押山を木曽御嶽山のミニチュアに見立て、R 2 5 7側からエッサエッサ歩いて登ってきたという歴史もあります。

したがって、安全な時期はなるべくR 2 5 7から、道路凍結の危険性のある時期はR 1 5 3から来ていただけたらと思います。

